

各位

2019年8月30日
株式会社 オロ

e スポーツに最も関心を寄せているのはあの県だった！ (『SEMrush』調べ)

株式会社オロは、世界と国内のeスポーツに対する関心度を『SEMrush』を用いて調査しました。

今年7月にeスポーツの世界大会で16歳の少年が約3億円もの賞金を手にしたニュースは、記憶に新しいのではないのでしょうか。

「eスポーツ」という単語は2000年のWCGC（World Cyber Games Challenge）から使われ始め、以来、世界各国でeスポーツの世界大会が開催されています（一般社団法人『日本eスポーツ連合』HPより）。現在に至るまで国内には数々のeスポーツに関する一般社団法人が設立され、2018年は「eスポーツ元年」と言われるほど、国内でも盛り上がりを見せています。

今では部活としてeスポーツ部が全国の高校で発足されはじめ、全国で選手権が開催されるなど、公式スポーツとしても認知され始めています。

そこで当社では、そのeスポーツに対する関心が一番強いのはどの都道府県なのかを調べるため、47都道府県のeスポーツに関するキーワード検索ボリューム調査を『SEMrush』を用いて行いました。

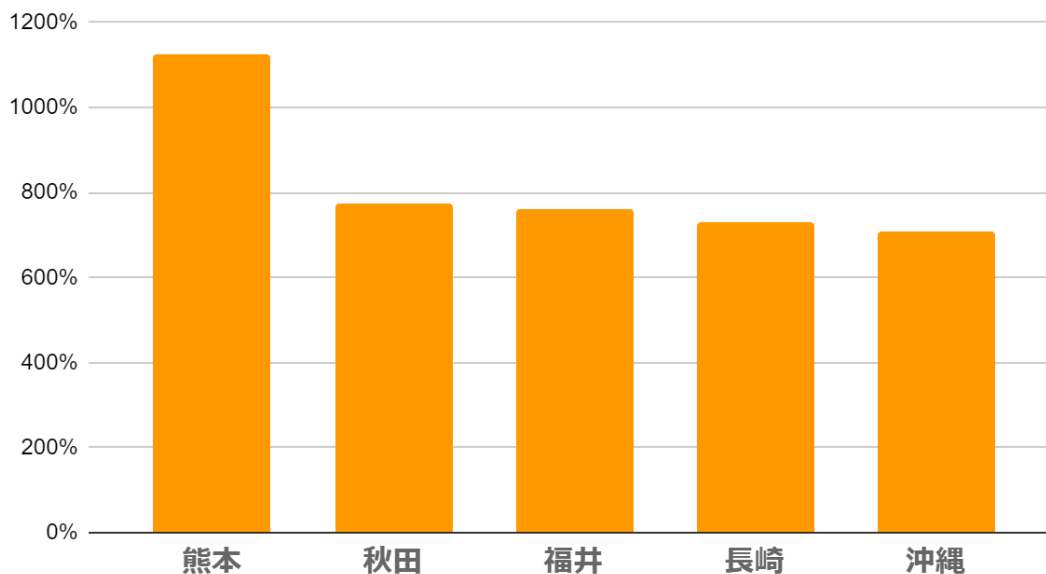
また、世界的なeスポーツの関心度も同様の調査で行い、各主要国で比較を行いました。

■国内で関心度が上昇している県はどこ？

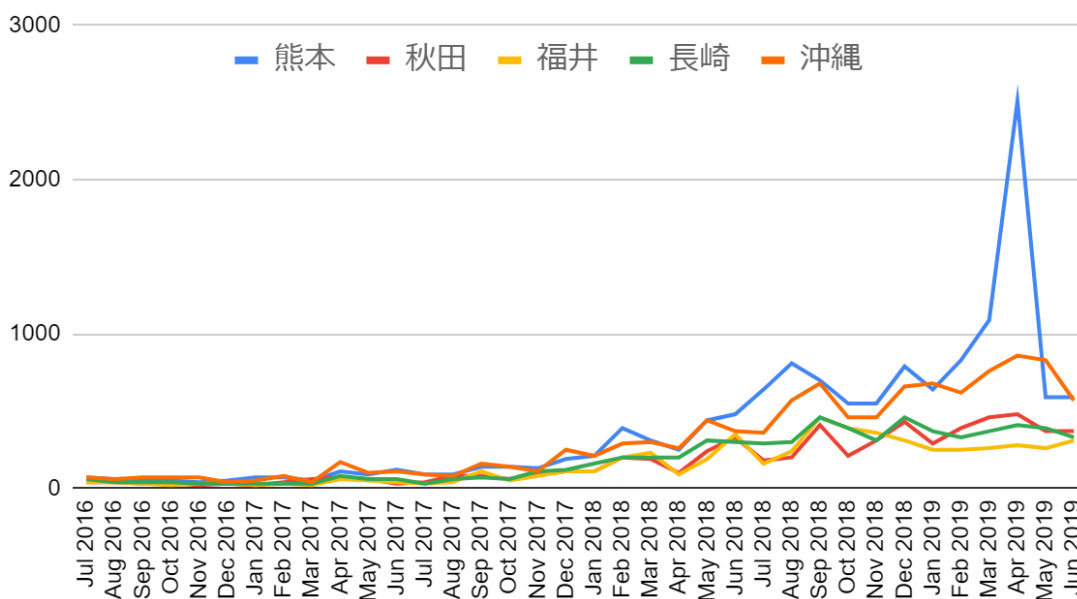
47都道府県と主要5都道府県（北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県）の「eスポーツ」に関連するワードの検索ボリュームを調べ、2016年～2019年間の検索ボリューム増加率を調査しました。

（※2016年7月～2017年6月の平均ボリューム数と、2018年7月～2019年6月の平均ボリューム数を比較したときの増加率）

47都道府県 キーワード検索ボリューム増加率 TOP5 (2016 - 2019)



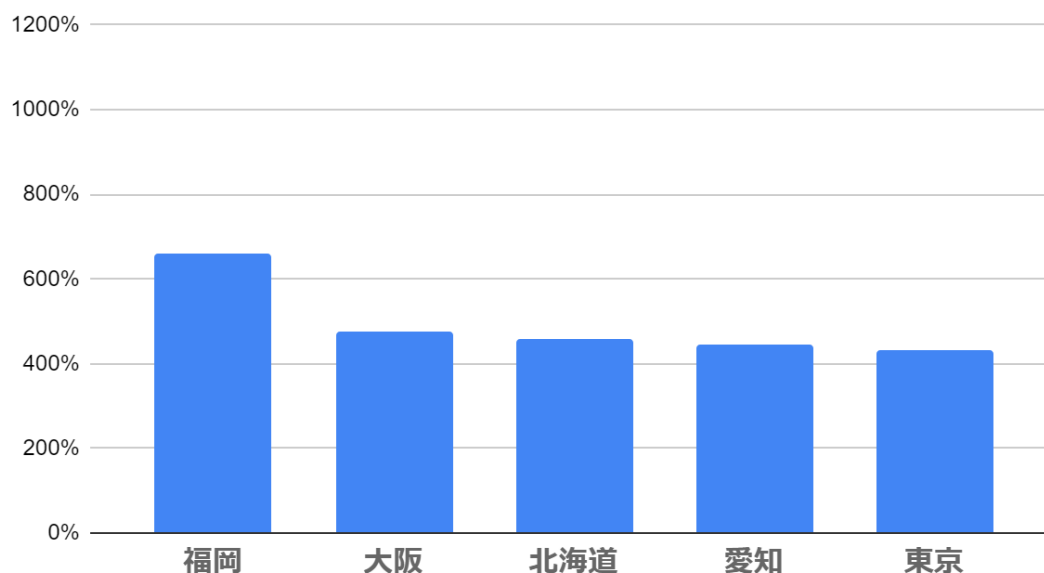
47都道府県 キーワード検索ボリューム推移 (2016 - 2019)



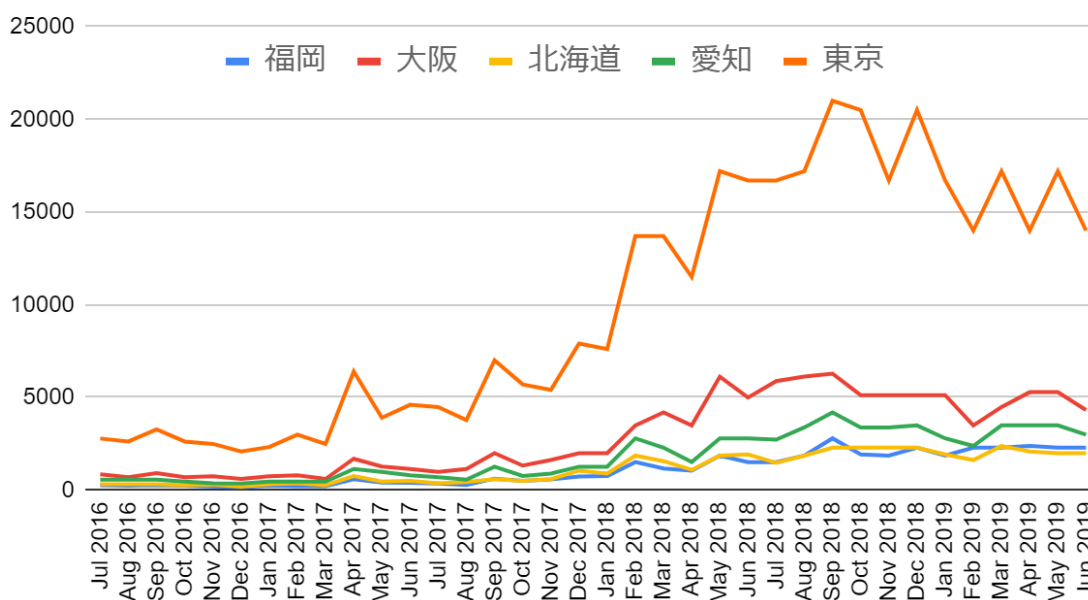
その結果、47 都道府県で一番増加率が高かったのは、熊本県、次いで秋田県となりました。熊本県では、2017 年秋に熊本発の e スポーツチームが発足するなど、関心の高まりが伺えます。TOP5 にランクインしているのはすべて首都圏から一定の距離が離れている地方県となっているのが特徴的といえます。ボリュームの推移をみると、ボリューム数が増加している時期が各県ともに共通していることが多いのがわかります。2018 年 2 月に日本 e スポーツリーグが開幕したり、2018 年 9 月にはアジア競技大会が開催されたり、

2018年12月には有名タイトルの世界大会が行われたりと、大きな大会が開催される時期に検索ボリュームが増えていることがわかりました。

主要5都道府県 キーワード検索ボリューム増加率 TOP5 (2016 - 2019)



主要5都道府県 キーワード検索ボリューム推移 (2016 - 2019)



主要5都道府県のみで見ると、福岡県が増加率1位となりました。ボリューム数だけで見ると圧倒的に多い東京都ですが、増加率で見ると、主要5都道府県の中では最下位、47都道府県全体で見ると東京都は43位となっています。

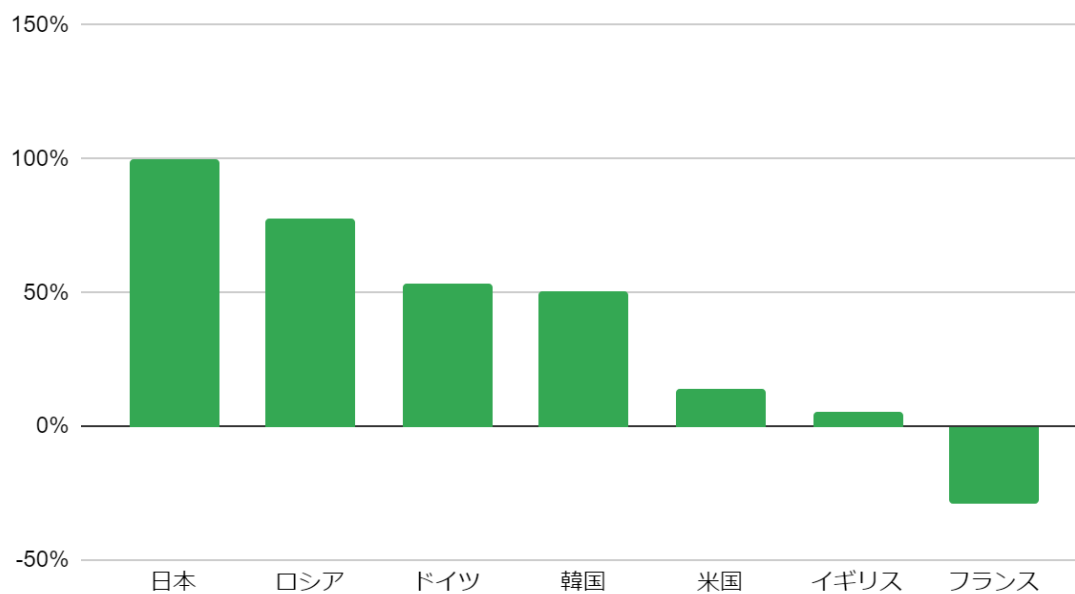
大きな大会が行われるときにボリューム数が増加するのは、各都道府県共に同じ傾向のようです。

■世界で一番関心が高まっている国は？

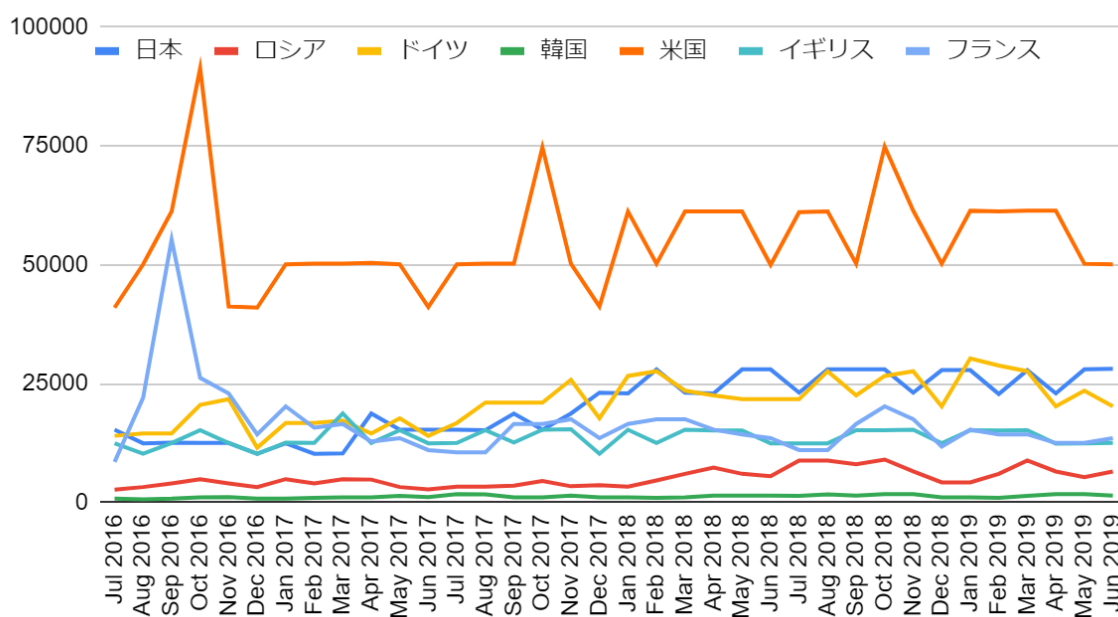
世界でのeスポーツに対する関心度を調査するため、主要国7カ国を選び、「eスポーツ」のキーワード検索ボリュームの2016年～2019年の増加率と、検索ボリュームの推移を調べました。

(※2016年7月～2017年6月の平均ボリューム数と、2018年7月～2019年6月の平均ボリューム数を比較したときの増加率)

世界7か国 キーワード検索ボリューム 増加率 (2016 - 2019)



世界7カ国 キーワード検索ボリューム推移 (2016 - 2019)



結果 7 カ国中、日本の増加率は第 1 位であり、世界と比較しても直近 3 年間で日本の e スポーツ人気は大きく飛躍していることがわかりました。日本国内の e スポーツ市場規模は、年々増加しており、2019 年から 2022 年までの年間平均成長率は約 19%と予想され（Gz ブレインによる調査）、今後国内での e スポーツ関心度はますますあがっていくものと考えられます。

■調査概要

調査方法：「SEMrush」を用いたキーワード検索ボリューム調査

調査期間：2016 年 1 月 1 日～2019 年 6 月 30 日

調査対象：アメリカ、イギリス、韓国、ドイツ、日本、フランス、ロシア

※言語は、その国の母国語において「e スポーツ」を意味する言葉を対象とした。日本は「e スポーツ」「イースポーツ」が調査対象キーワード。

■SEMrush に関するお問い合わせ先

株式会社オロ SEMrush 担当 坂元

Mail : info_semrush@jp.oro.com

日本公式ページ : <https://semrush.jp>

オロは『SEMrush』の国内総販売代理店です。

★現在、14 日間無料トライアルをご利用いただけます。

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社オロ 広報担当 橋口

TEL : 03-5843-0836 (直通) / Mail : info@jp.oro.com

※Semrush Inc. 会社概要

社名 : Semrush Inc. <https://www.semrush.com/>

設立 : 2008 年

所在地 : 7 Neshaminy Interplex Ste 301, Trevose, PA 19053-6980 USA

代表者 : Oleg Shchegolev

従業員数 : 601 名 (2018 年 11 月現在)

事業内容 : SEMrush の開発、運用、管理、サポート

■株式会社オロ 会社概要

社名	株式会社オロ https://www.oro.com/
創業	1999年1月20日
所在地	東京本社 東京都目黒区目黒 3-9-1 目黒須田ビル
代表者	代表取締役社長 川田 篤
従業員数	単体 242人 / 連結 427人 (2019年6月30日現在)
資本金	1,185百万円
事業内容	クラウドソリューション事業 ・クラウド ERP「ZAC」「ZAC Enterprise」(https://www.oro.com/zac/) の開発・提供 ・クラウド PSA「Reforma PSA」(https://www.oro.com/reforma-psa/) の開発・提供 デジタルトランスフォーメーション事業 ・企業のデジタルマーケティング支援 (https://www.oro.com/cd/) ・企業のグローバルコミュニケーション支援 (https://www.oro.com/global/)